

# 交流の考古学

第1回

2024年 4月 25日 (木) 10:30～  
愛知県埋蔵文化財調査センター2階 研修室

## 中世の交流 焼物からみる流通と模倣

鈴木正貴

### 1 考古学からみる交流

- =異なる場所から出土する遺物の類似性を検討
- 異なる場所で同じモノが出土 = ヒトの移動
- = モノの移動(流通)
- 異なる場所で似たモノが出土 = 技術の伝播(生産者の移動?)
- = カタチや使用法の伝播

### 2 焼物にみる地域のまとめ

- =生産地の特定とその製品の移動範囲を検討
- 陶磁器 = 特定産地(大掛かりな窯跡)
- 土師器 = 産地の特定が難しい→消費の様相から推測
- =検討の結果、3段階の地域のまとめがある
- 大地域 = 中世前期に山茶碗・土師器鍋があるエリア=東海地域
- 中地域 = 主な器種が同じエリア=東海を7地域に大別される
- 小地域 = 細かな違い=旧国単位よりも狭い数郡単位の地域

### 3 土師器にみる流通と模倣

- =小地域ごとに生産? その中でも地域を超えた共通性もある
- 南伊勢系鍋 = 広域流通品か、それとも?
- 内耳鍋 = カタチを模倣、カタチの変遷

### 4 陶磁器にみる流通

- =流通する範囲は製品ごとに異なる
- 広域流通品 = 高品質な製品は遠方へも
- 狭域流通品 = 近場の生産地



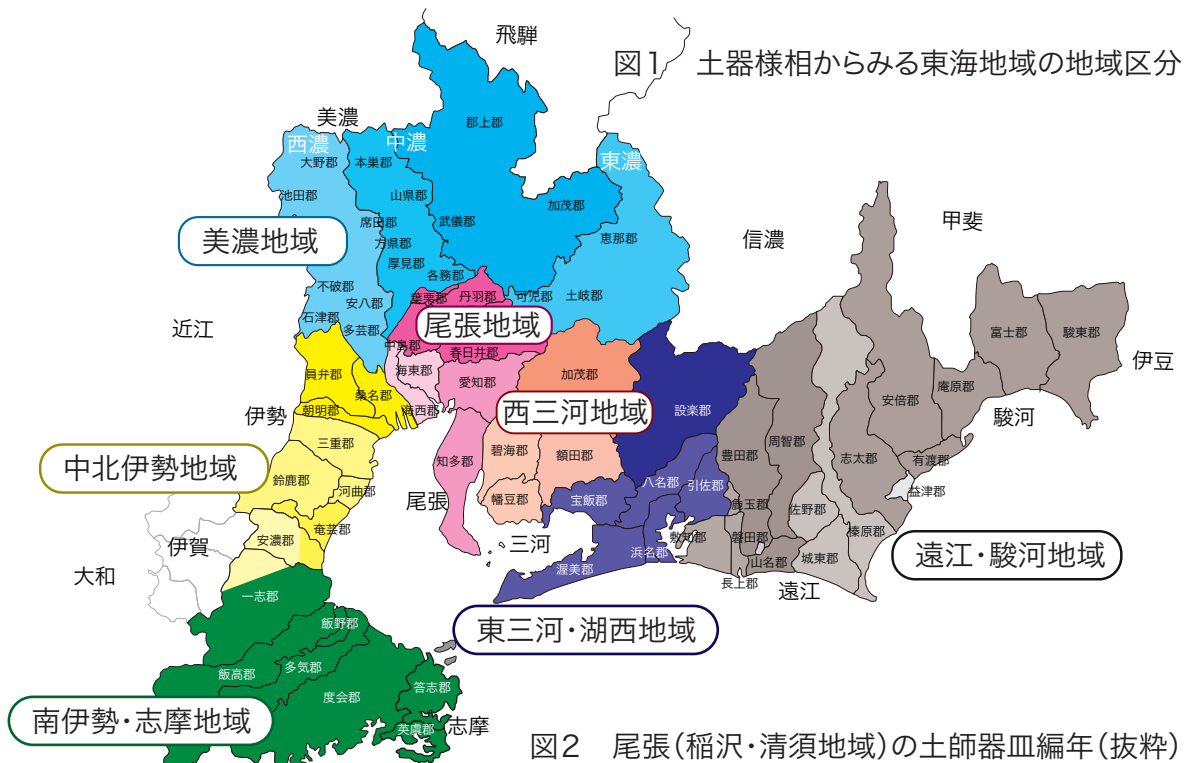


図1 土器様相からみる東海地域の地域区分

図2 尾張(稲沢・清須地域)の土師器編年(抜粋)

『愛知県史資料編5考古5鎌倉～江戸』2017から作成した

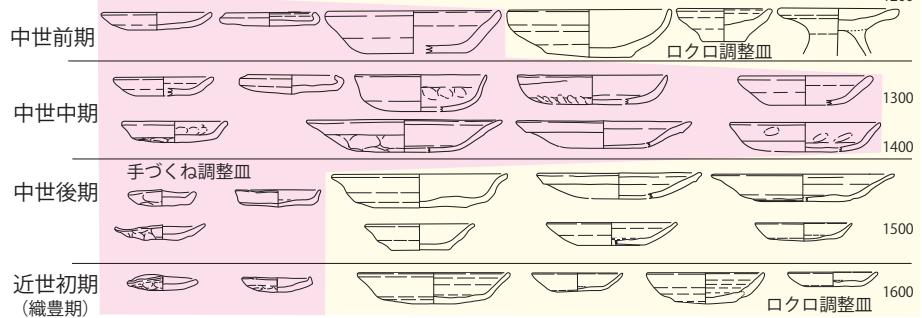
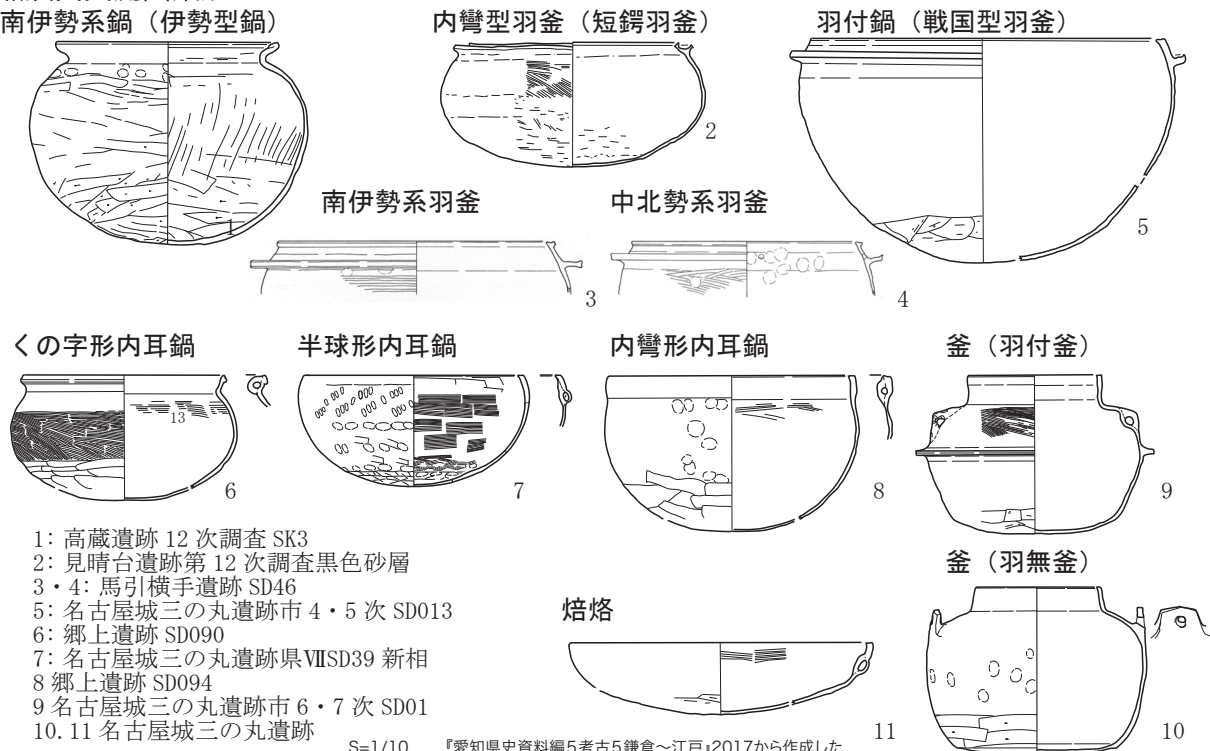


図3 主要土師器  
煮炊具実測図集成  
南伊勢系鍋(伊勢型鍋)



- 1: 高蔵遺跡 12次調査 SK3
- 2: 見晴台遺跡第12次調査 黒色砂層
- 3・4: 馬引横手遺跡 SD46
- 5: 名古屋城三の丸遺跡市4・5次 SD013
- 6: 郷上遺跡 SD090
- 7: 名古屋城三の丸遺跡県VIIISD39 新相
- 8 郷上遺跡 SD094
- 9 名古屋城三の丸遺跡市6・7次 SD01
- 10, 11 名古屋城三の丸遺跡

S=1/10

『愛知県史資料編5考古5鎌倉～江戸』2017から作成した

		古代末期	中世前期	中世中期	中世後期	近世初期
①南伊勢	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗	?	施釉陶器	
	土師器皿	ロク口+非ロク口		非ロク口調整皿		
	土師器鍋	南伊勢系鍋				
②中北伊勢	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗	?	施釉陶器	
	土師器皿	ロク口調整皿	非ロク口調整皿			
	土師器鍋	?	南伊勢系鍋	羽釜		
③美濃	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗		施釉陶器	
	土師器皿	ロク口調整皿	非ロク口調整皿主体			
	土師器鍋	清郷型鍋	南伊勢系鍋	羽釜	内耳鍋	
④尾張	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗		施釉陶器	
	土師器皿	ロク口調整皿	非ロク口調整皿		ロク口+非ロク口	
	土師器鍋	清郷型鍋	南伊勢系鍋	羽釜	内耳鍋	
⑤西三河	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗	?	施釉陶器	
	土師器皿	ロク口調整皿	ロク口調整皿主体			
	土師器鍋	清郷型鍋	南伊勢系鍋	羽釜	内耳鍋	
⑥東三河湖西	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗	?	施釉陶器	
	土師器皿	ロク口調整皿	ロク口+非ロク口	非ロク口調整皿主体		
	土師器鍋	清郷型鍋	南伊勢系鍋	羽釜	内耳鍋	
⑦天竜川以西	陶器供膳具	灰釉陶器	山茶碗	?	施釉陶器	
	土師器皿	ロク口調整皿	ロク口+非ロク口	ロク口調整皿主体		
	土師器鍋	清郷型鍋	南伊勢系鍋	羽釜	内耳鍋	

注: 上記は主体となる種別のみを記述しており、実際にそれだけで構成されている訳ではない。

: また、各地域の土師器皿や鍋は、その名称が同一でも実際の形状はほとんどの場合異っているものである。

図4 東海地方の中地域における土器様相の概念図(模式図)

		第3型式	第4型式	第5型式	第6型式	第7型式	第8型式	第9型式	第10型式	第11型式
①南伊勢	東濃型									
	尾張型	△	△	○	○	△				
	渥美・湖西型	△	○	○	○					
②中北伊勢	東濃型					△	△			
	尾張型	○	○	○	○	○	○	△		
	渥美・湖西型		△	△	△					
③美濃北西部	東濃型				○	○	○	○	○	○
	尾張型	○	○	○	○					
	渥美・湖西型									
③美濃東部	東濃型		○	○	○	○	○	○	○	○
	尾張型	○								
	渥美・湖西型									
④尾張西部	東濃型					○	○	○	○	○
	尾張型	○	○	○	○	○	○			
	渥美・湖西型									
④尾張東部	東濃型					△	△	○	○	
	尾張型	○	○	○	○	○	○	△		
	渥美・湖西型									
⑤西三河	東濃型					△	△			
	尾張型	○	○	○	○	○	○	△		
	渥美・湖西型		○	○	△					
⑥東三河	東濃型					△	△			
	尾張型				△	△				
	渥美・湖西型	△	○	○	○	○	○			
⑥遠江西部	東濃型									
	尾張型					△	△			
	渥美・湖西型	△	○	○	○	○	○			
⑦遠江東部	東濃型									
	尾張型					○	△			
	渥美・湖西型		○	○	△					
⑦駿河西部	東濃型									
	尾張型									
	渥美・湖西型		○	○	△					
⑦駿河西部	東濃型	○	○							
	東遠型	○	○							

図5 東海地方の中地域における山茶碗の流通状況概念図(藤澤1993を改変)

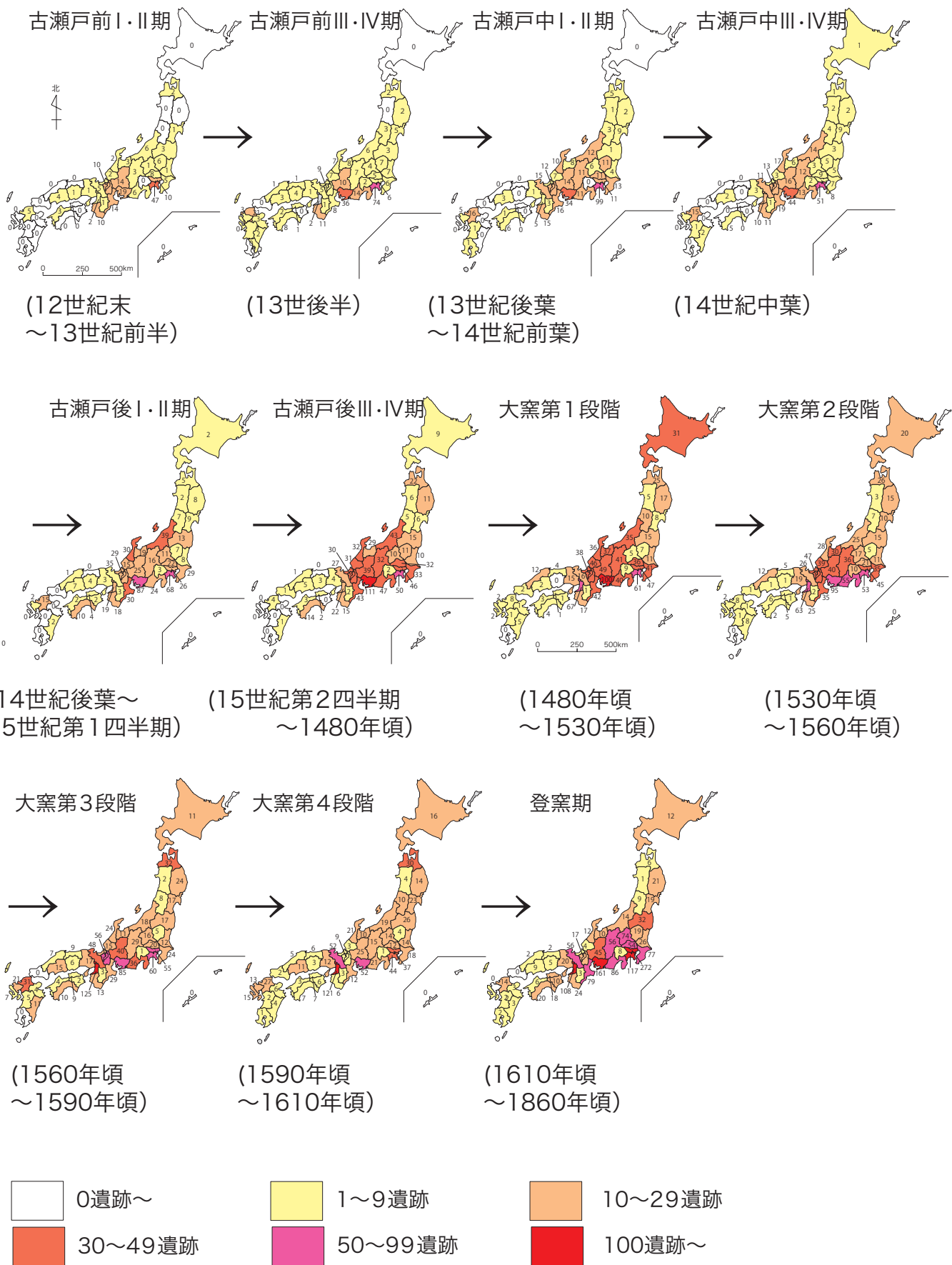


図6 都道府県別の瀬戸・美濃窯産製品の出土遺跡数分布図

(1996年現在)